

## 関東甲信越英語教育学会 2013年度春季研修会

研修会テーマ 「授業づくりの『原点』を見つめて ～よりよい授業・活動のために～」

日時 2014年3月21日（金・祝）9時50分～16時50分

会場 お茶の水女子大学附属高等学校 <http://www.fk.ocha.ac.jp/access/access.html>  
〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
交通 東京メトロ丸ノ内線・茗荷谷駅下車、徒歩約7分

参加費 会員 無料 非会員 2,000円 学部生・大学院生(非会員) 500円

### 時程・内容

9:30～9:50 受付

9:50～10:00 開会式 会長挨拶

#### 10:00～11:40 1. 講演

テーマ : 「英語の授業は英語で」を改めて考える

講師 : 小菅 和也 先生 (武蔵野大学)

高等学校の学習指導要領に「授業は英語で行うことを基本とする」とあり、これが話題となった。

これに対しては、多様な意見や議論があり、新聞や雑誌の記事、テレビ番組などでも取り上げられた。英語教員対象の研究会や大会などでは、さまざまな実践が報告・発表されている。

これらも踏まえ、「英語の授業は英語で」の意義や問題点、考え方などを改めて整理し、実践的な立場から論じたい。

#### 11:50～13:00 2. 授業実践報告 (高校)

テーマ : ニーズを醸成し、意欲を育む授業づくり

発表者 : 小松 一正 先生 (千葉県立松戸国際高等学校)

知識や技能の習得の前提にはそれらに対するニーズの醸成が不可欠である。

私は英語教員として、生徒の「英語が分かりたい」「英語で話したい」欲求を十分に引き出していくことによって、やがてそれが「もっと正確に分かりたい」「もっと正しく話したい」意欲に昇華していく授業づくりを考えてきた。

そうした私の「意欲を育む授業づくり」を問う。

#### 13:00～14:10 昼食・休憩

#### 14:10～15:20 3. 授業実践報告 (小学校)

テーマ : 英語の音に対する意識と音素認識能力を育む活動 — 「音遊び指導」の効果—

発表者 : 佐藤 大作 先生 (大網白里市立白里小学校)

学習指導要領の外国語活動はコミュニケーション能力の素地を育むことをねらいとし、聞く・話すに重点を置いている。このような制限のある中で、英語の音に着目し、中学校で発音と綴りの関係を学ぶ前段階の児童に、音素認識能力を高めるための音遊び指導を取り入れてみた。その実践を報告する。

15:30～16:40 4. 授業実践報告 (中学)

テーマ : 「CAN-DO リスト」を活用した授業づくり

発表者 : 吉澤 孝幸 先生 (秋田県大仙市立大曲中学校)

これまでの自校での授業を振り返ると、「対訳を通しての英文理解」や「暗記によるスピーキング」を中心とする手法が問題点として浮かび上がってきた。このような現状から脱却するための足がかりとして、「CAN-DO リスト」を活用する授業を実施し、さらに、英語の「理解」とはどうあるべきかを英語科全体で議論し、規定した。その内容や、メモに基づいたスピーキング指導の実践を中心に、お話したい。

16:40～16:50 閉会式

17:20～ 懇親会 茗荷谷駅前 たかの家にて

参加申し込み 2014年3月10日 (月) 締め切り

学会ホームページ <http://www.kate-j.org/> よりお申し込みいただくか、下の申込書をご記入の上、郵送またはファックスで、以下の宛先までお願いいたします。

送付先:

関東甲信越英語教育学会研修企画委員長 松津英恵  
〒112-0002

東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校

Phone: 03-3816-8603 Fax: 03-3816-8605

お問い合わせ 右記のメールアドレスへお願いいたします。 [kateshunki@gmail.com](mailto:kateshunki@gmail.com)

その他

- 自家用車でのご来場はご遠慮下さい。
- 時程・内容等は、事情により一部変更になることがありますので、予めご了承下さい。

-----キ---リ---ト---リ-----

FAX → 03-3816-8605

関東甲信越英語教育学会研修企画委員会御中

### KATE 春 季 研 修 会 申 込 書

2013年度 (2014年3月21日実施) 春季研修会への参加を申し込みます。

フリガナ		申込日				年	月	日
氏 名		いずれかに○ 会員 非会員 学生(非会員)						
所属先名称								
所属先電話	—	—	所属先 FAX	—	—			
e-mail	@							
教 歴	いずれかに○	学部生	大学院生	5年未満	5～10年	10年以上		
懇 親 会	いずれかに○	出 席			欠 席			

